

第2章 基本理念・目指す姿

1 基本理念

本計画では、多世代が生き生きと暮らせる2040年を目指して、将来にわたる不変の考え方として、基本理念を掲げています。

多様性を認め合い 支え合いながら 自分らしく活躍できる
安心と活気あふれる共生のまち 広島県

また、基本理念を具現化するものとして、10年後の目指す姿を設定しています。

【目指す姿】

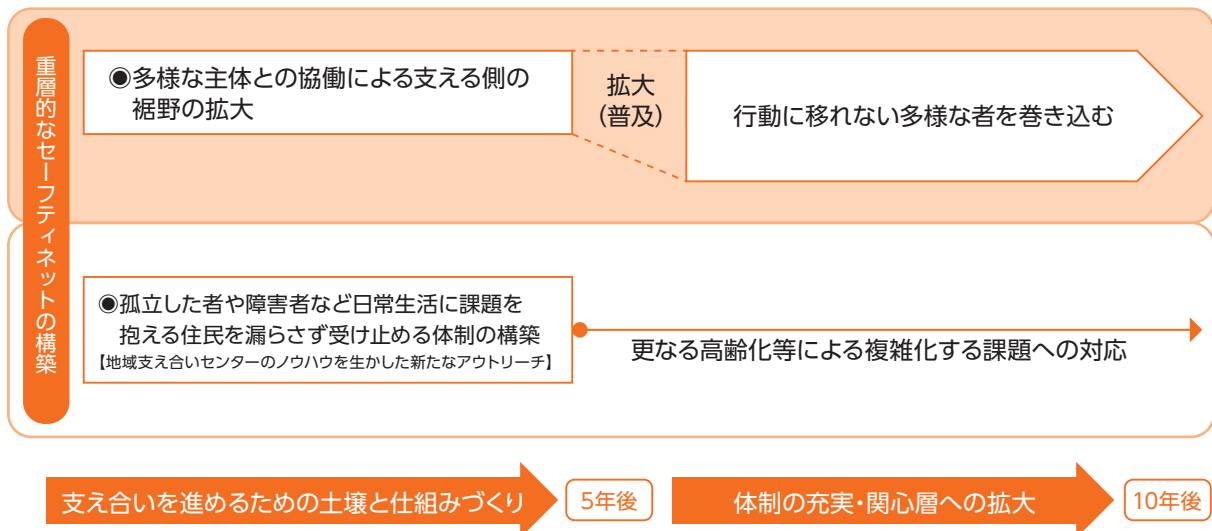
- 県民は、地域コミュニティへの参画や地域活動への参加の機会を得て、地域とのつながりを強め、多様な主体との協働により、見守り合いと支え合いが生まれています。
- 日常生活上の困り事を抱える方々を早期に発見し、相談を漏らさず受け止め、解決につなげる重層的なセーフティネットが構築されています。

2 個別施策ごとの目指す姿

- 第4・5章において、将来像を県民の皆様が把握できるよう、個別の施策ごとに計画期間である「5年後の目指す姿」と「10年後の目指す姿」を設定しています。

3 目指す姿の実現に向けた方策

- 目指す姿の実現に向けて、多様な主体との協働による支える側の裾野の拡大と、課題を抱える住民を漏らさず受け止める体制の構築により、支え合いを進めるための土壌と仕組みづくりを展開します。



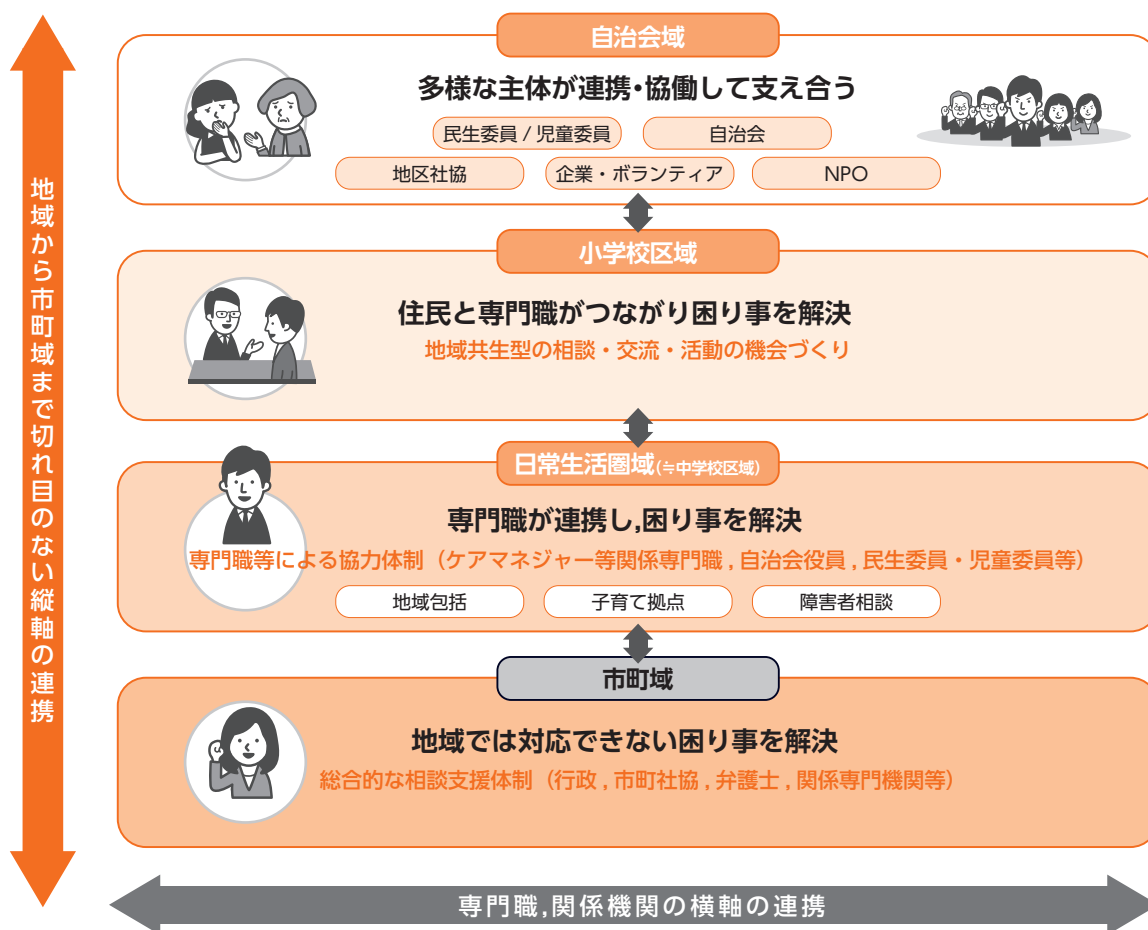
第2章 基本理念・目指す姿

【重層的なセーフティネット イメージ】

《10年後にこんな変化が起きている》

全市町において、自治会などの小地域から市町域まで、「住民間」、「住民と専門職」、「専門職間」、「市町域の関係機関」がつながる重層的なセーフティネットが構築されており、地域生活課題を早期に発見し、相談を漏らさず受け止め、個人の自律を支えながら、ライフステージの変化に応じた柔軟な支援(伴走型の支援)を提供することができています。

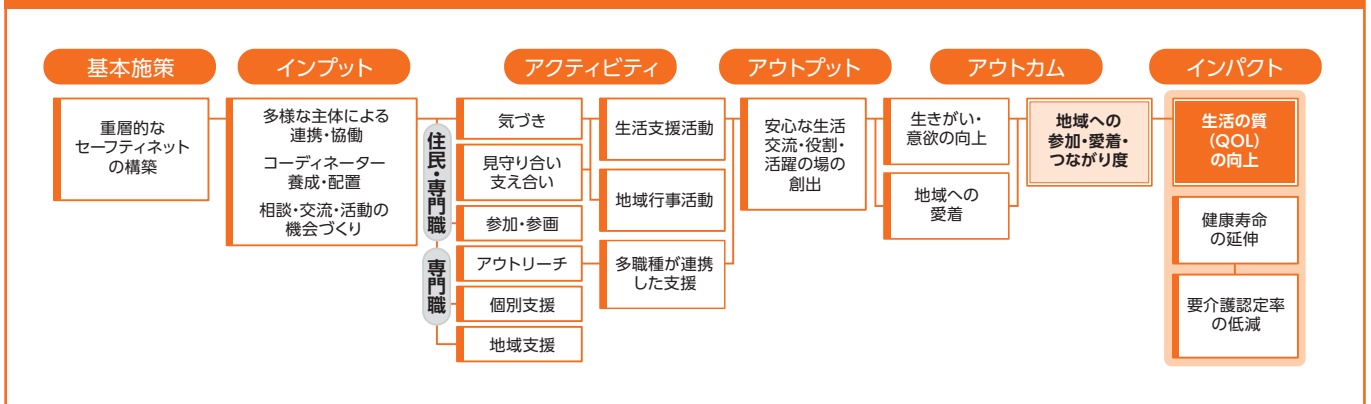
- ✓ 住民は、地域リーダー、企業・ボランティアやNPOなどと協力して、支え合い、生活支援を行う機会を得て、活動に参加しています。
- ✓ 相談・交流・活動の機会づくりによって、住民は困り事を気軽に相談でき、多世代・障害者など住民が出会い、様々な交流や活動が生まれています。
- ✓ 相談された課題が、複雑であっても、住民の代表と専門職が一緒になって、解決策を話し合い、対応しています。
- ✓ 地域で解決できない課題は、行政や社会福祉協議会などが連携して、受け止め、解決に導いてくれています。



4 注視する指標

- 重層的なセーフティネットの構築等の施策を進め、住民・専門職がそれぞれ地域における活動や支援を行うことで、安心な生活・交流・役割・活躍の場が創出され、それが地域住民の生きがいや意欲の向上、地域への愛着をより深めることにつながり、地域への参加・愛着・つながり度などのソーシャル・キャピタルが向上すると考えています。
- ソーシャル・キャピタルの向上を図る指標については、令和元(2019)年9月に本県が実施した県民意識調査や令和2年度から実施するモデル事業の効果検証を踏まえ設定していきます。

【指標設定の考え方】



《参考：地域コミュニティに関する 県民意識調査（令和元年9月 広島県）》

指標	現状値 (県平均)	沿岸部 (※1)	中山間部 (※2)
近隣の方々とよく付き合っている	54.3%	51.4%	75.3%
地域の行事や活動へ参加している	50.3%	47.8%	68.5%
困りごとや悩みに対して地域の方向士での助け合いが できている	48.3%	47.3%	55.2%
10年前と比べて地域とのつながりが強くなっている	8.6%	8.9%	6.7%

(※1)沿岸部(9市4町):広島市, 呉市, 竹原市, 三原市, 尾道市, 福山市, 大竹市, 東広島市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町

(※2)中山間部(5市5町):府中市, 三次市, 庄原市, 安芸高田市, 江田島市, 安芸太田町, 北広島町, 世羅町, 神石高原町, 大崎上島町